



# しばた議会だより



(熊野幼稚園)



## ■6月会議

- 図書館建設基金を活用し用地取得へ ..... 2 ~ 3
- 本会議出欠状況・議案などの審議結果 ..... 4
- ここが聞きたい 15人の議員が一般質問 ..... 5 ~ 13
- 常任委員会レポート ..... 14
- 議会懇談会のご案内 ..... 15
- 高校生の意見が聞きたい(第3回柴田高校3年生との懇談会) ..... 16 ~ 17
- 追跡あれはどうなった「地方創生関係交付金」 ..... 18 ~ 19
- あなたの一言(瀬戸 玲子さん) ..... 20

# を活用し用地取得へ

「当面は駐車場として活用予定」

## 30年度一般会計補正予算

今回の補正は、図書館整備用地を取得するための公有財産購入費をはじめ、健康づくり事業の実施に必要な備品購入費のほか、コミュニティ助成事業補助金や学校給食センター修繕計画策定委託料などの予算を措置するものです。

図書館整備用地は、文化ゾーンとして位置づけられる現図書館の北側の土地を予定し、さらなる文化機能の集積を図るものです。なお、取得後は、当面、現図書館の駐車場や「桜まつり」などの臨時駐車場として、活用を予定しています。

6月会議は、6月4日から7日まで開催されました。平成29年度一般会計補正予算をはじめとする各種会計補正予算、平成29年度各種会計繰越計算書や町税条例の一部改正など、11件の報告がありました。

また、議案としては、平成30年度一般会計補正予算、条例改正など4件で、審議の結果、原案のとおり可決しました。一般質問は、15人の議員が行い、項目は32件でした。

### 学校給食センターの修繕は

**質疑** 修繕計画の内容は。

**答弁** 電気設備・機械設備等を効率的に安価に修繕するための調査と修繕計画の策定を委託するもの。

**質疑** 修繕計画策定とは。

**答弁** 来年度以降、給食のより安全安心に給食の調理ができるよう修繕計画を依頼する。最新の厨房設備で給食を作っているが、建物の不具合箇所を効率的に修繕する計画を策定する。



おいしい給食、うれしいな！

### 健康づくりの備品購入は

**質疑** 健康機器の購入計画は。

**答弁** 内臓脂肪計、体組成計、血管年齢計は一台ずつ購入。他に血圧計、身体測定器を考えている。すべて、持ち運びができるものにする。

## 補正予算の主な事業と予算額

主な事業	予算額
コミュニティ助成事業（第28区行政区）	180万円
健康づくり事業（備品購入）	297万円
図書館整備事業（図書館整備用地）	1億円
学校給食センター修繕計画策定業務委託	220万円

## 平成30年度補正予算（6月会議）

会計区分	補正額	補正後の金額
一般会計	1億1,013万円	119億3,424万円
特別会計		
公共下水道事業	66万円	13億7,737万円
介護保険	448万円	28億8,025万円

## 討論 一般会計補正予算

30年度一般会計補正予算に対し、それぞれ反対、賛成の立場から討論を行いました。

### 反対意見

秋本好則議員

図書館建設基金の使用により、おのずと図書館の場所は決まる。まちづくりの核となる施設だからこそ、住民参加で決める必要がある。行政運営の透明化をうたう、まちづくり基本条例にも反するため原案に反対する。

### 賛成意見

水戸義裕議員

今回の補正予算の中では、図書館整備用地の購入費が大きなウエイトを占める。実現性からも、土地の取得は最善の選択と思う。さらに、コミュニティ助成や健康づくり事業などの予算も含まれることから賛成する。



平成30年度  
6月会議

# 図書館建設基金



取得予定地

## 選挙管理委員及び補充員の選挙の執行

選挙管理委員（4人）と補充員（4人）の選挙を執行しました。任期は、平成30年6月27日から平成34年6月26日までの4年間となります。

### ○選挙管理委員に選出



手代木 文夫氏（再任）  
（船岡新栄2丁目）



村田 健一郎氏（再任）  
（船岡東4丁目）



豊川 光雄氏（新任）  
（船岡字七作）



五十嵐 眞祐美氏（新任）  
（北船岡3丁目）

### ○補充員に選出

馬場 敏雄氏（新任）  
（船岡西1丁目）

尾池 陽子氏（新任）  
（東船迫1丁目）

小林 清氏（新任）  
（葉坂字戸ノ内）

大沼あけみ氏（新任）  
（上川名字館山）

## 意見書 可決

### ◎臓器移植の環境整備を求める意見書

☆意見書の趣旨（抜粋）

国民が命の大切さを考える中で、臓器移植にかかる意思表示について具体的に考え、家族などと話し合う機会をふやすことができるよう、臓器移植に係るさらなる啓発に努めること。  
（全会一致）

# 本会議出欠状況・議案などの審議結果

## ●本会議出欠状況及び審議結果一覧（6月会議）

区分	主な内容	月日	議決者数 出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕	高橋たい子
出欠状況	町政報告、一般質問	6.4	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	6.5	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問、選挙管理委員及び補充員選挙	6.6	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例審議、補正予算、意見書	6.7	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	議案番号	月日	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕	高橋たい子	
議案結果	選挙第1号	6.6	17	0	指名選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第1号	6.7	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第2号	6.7	17	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	議
	議案第3号	6.7	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	議案第4号	6.7	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	意見書案第1号	6.7	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

## ○平成30年度柴田町議会6月会議

件名	内容
選挙第1号	柴田町選挙管理委員及び補充員の選挙 3ページに掲載
議案第1号	柴田町障害児就学指導審議会条例の一部改正 ・学校教育法施行令の一部改正により、障がいを持つ児童生徒への支援内容が拡充強化されたことから、関連条例について所要の改正を行うもの
議案第2号	平成30年度柴田町一般会計補正予算(1億1,013万円増) 2ページに掲載
議案第3号	平成30年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算(66万円増) ・主なものは、歳入では受益者負担金の増、歳出では、家屋調査委託料の増
議案第4号	平成30年度柴田町介護保険特別会計補正予算(448万円増) ・主なものは、介護保険制度改正に伴うシステム改修委託料の増
意見書案第1号	臓器移植の環境整備を求める意見書 3ページに掲載

## 平成30年度 柴田町議会予定表 (8月1日現在)

8月	2日	議会懇談会 (仙台大学教職員との懇談)	議員研修会	8日	議会懇談会(住民との懇談)	10日	議員全員協議会	20~22日	一般質問受付	22日	議員全員協議会、議会運営委員会	28日	議会運営委員会	30日	町村議会議員研修会						
9月	3~14日	9月会議	7日	議会広報常任委員会	20~21日	文教厚生常任委員会	27~28日	議会広報常任委員会	10月	1~3日	議会広報常任委員会	4~5日	総務常任委員会	10日~11日	産業建設常任委員会	16日,22日	議会広報常任委員会	17日	文教厚生常任委員会	25日,26日	北上市議会議員交流会



# 一般質問

ズバリ



あなたにかわって

## ここが聞きたい

Q & A



一般質問は6月4日から6日までの3日間で行われ、15人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。答弁者は、滝口町長、船迫教育長及び各担当課長等です。



平間奈緒美 議員

**Q** 白石川堤一目千本桜の四季をPRしては

**A** 新たな景観形成を考えていきたい



新緑の桜並木

大河原町との共同事業である白石川堤一目千本桜ブランド化事業は、両町でどのように連携をしていくか、国内外への情報発信を強化していくのが、今後進めていく上での課題となる。

**問** 町で行っている桜まつりは、一体的、効果的なプロモーションが必要ではないか。

**町長** 桜まつり用2町共同マップと海外向け情報誌に白石川千桜公園を掲載した。2町でのテレ

ビ出演や台湾で開催された東北6県感謝祭への2町共同ブース出展によるプロモーション、タイで開催された国際旅行博覧会への参加と現地旅行会社へのセールス活動などを行った。引き続き大河原町と連携しながら、一体的、効果的に情報発信やメディア対策、プロモーションを展開する。

**問** 情報を発信する上で、白石川堤一目千本桜というコンテンツを立ち上げて、大河原町と共同

でホームページに掲載してはどうか。

**商工観光課長** 海外から来る方にとって、ホームページは重要なコンテンツであることから、打ち合わせを進めている。

**問** 白石川堤一目千本桜の四季をPRしては

**商工観光課長** 船岡城址公園などのイベントを組み込みながら、プロモーション用のビデオ製作を進めている。その一つとして、新たな景観形成を考えていきたい。

# 一般質問



舟山 彰 議員

**Q** 町内の医療機関は足りているか

**A** 医療機関は不足していない



安心な医療体制を

町内で長く開業していた診療所が休止したため患者が医療機関を変えざるを得ず、苦労したという話を聞いた。そこで、現在の町内の診療所の実情について問う。

**問** 内科、外科、産婦人科、小児科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科など、町としては現在医療機関の数が足りていると思うか。

**町長** 本町は、仙南医療圏域の中では医療機関数が多く、一次医療のほ

ぼ全ての診療科目をカバーできている。現在のところ医療機関は不足していないと認識している。

**問** みやぎ県南中核病院との連携の実情について伺う。開業医からの紹介で中核病院での診察や治療、開業医への報告や患者の逆紹介など、現在の状況は。

**町長** 本町からの紹介者数は29年度3千41件。病院との連携登録医師数は43人となっている。

**問** 患者からの意見要望、苦情の状況は。

**町長** 病院に関する意見について、昨年度は町に2件寄せられたが、いずれも内容を病院に伝えている。

病院側にも、意見・苦情の受付窓口がある。意見箱に寄せられたものについては院内で検討し、回答を掲示するなどの対応をしているとのことである。



吉田和夫 議員

**Q** AEDの有効活用のため屋外への設置を

**A** リース契約更新時に、屋外への設置を検討する



職員によるAED研修風景

**問** 突然死の未然防止のため、各小中学校には2台のAEDが既に配置されているが、土日や祝日に校庭などを利用しているクラブ活動などで、万が一事故が起きた場合は利用できない。安心して学校施設を利用できるように、1台は外に設置できないか。

**教育長** 現状では多くの場合、校庭を利用する団体が、体育館内のAEDを利用できる状況である。今後も、体育館と校庭の

利用状況を勘案し、AEDの設置方法や適切な設置場所などについて調査を行い、次回のリース契約更新時に、屋外への設置についても検討する。

**問** 心肺蘇生教育の実施状況は。

**教育長** 防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業の一環として、28年度には東船岡小学校6年生、29年度には船迫小学校6年生が柴田消防署の指導を受け、AEDの使用方法を含む応急手

当の訓練を行った。中学校では、2年生の保健体育の授業で柴田消防署の協力を得て、心肺蘇生法などの実習を行っている。

**問** AEDの貸し出しは。

**教育長** 柴田町体育協会の総会で、加盟団体から貸し出し用AEDの購入の提案があり承認され、貸し出し用AEDを1台購入すると伺っている。





加藤 滋 議員

## Q 伝統芸能の 存続を

## A 情報交換の場を設けたい



槻木下町「久須志神社」の神楽

町内には、伝統芸能として5つの神楽保存会と1つの木やり保存会があるが、後継者や資金不足により存亡の危機にある。存続に向けての現状や方向性を問う。

**問** 各地の神楽保存会は、どのような活動をしているのか。

**教育長** 保存会により、状況に差があるが、年2回の神社への神楽奉納や地区のふるさと祭りなどのイベントで、年3回の上演を行っている保存会もある。

**問** 存続に向けて、行政ができることは。

**教育長** 町の無形文化財に指定している神楽を中心に、伝統文化保存会への謝礼をし、活動の継続を支援している。過去には、国の補助事業の採択を受け、神楽保存会に装束や太鼓の備品購入の支援も行ってきた。後継者育成については、保存会の負担が増えることが懸念されるが、新たに神楽の発表の場を設けるなど、その魅力を知ってもらうことが大切

**問** 小中学生を対象として、後世に伝え続けるのもひとつの方法では。

**教育総務課長** 柴田小学校での大黒舞や各小学校でのソーランなどの踊りを行っているが、神楽への取り組みは難しい。

**問** 地域や町の宝との意味合いからも、存続に向け支援の検討は。

**生涯学習課長** 実情把握のため、保存会の方々の情報交換の場を設けたい。

平成29年度のふるさと納税が全国で3千億円を超える予想となっている。一方で、自治体が寄附金を集めるために高額な返礼品を提供することが問題視されている。総務省からは、29年4月以降は返礼品の金額を30%以下に抑制するように自粛を求められ、30年4月には再び通知が出され、返礼品の送付について良識のある対応が要請されている。ふるさと納税について問う。

**問** 29年4月の自粛要請への対応及び影響は。

**まちづくり政策課長** デジタルカメラ、仙台筆筒などを取りやめたが、件数・金額ともに増えている。

**問** 二度の総務省通知を絶対のチャンスととらえて、さらに魅力ある商品開発を図るべきでは。

**まちづくり政策課長** 子牛の牛タンが高級食材として、稀少価値が高いので、導入を計画している。

**問** ふるさと納税にポイント制度の導入を。

**町長** 必ずしも寄附金額の増加に直結するとは限らない。ポイント制の導入は考えていない。

**問** カタログギフトを基にしてふるさと納税を増やしている自治体が多いが、本町でも導入を検討しては。

**町長** まずは基本的な手法で伸ばしていくが、将来は、カタログギフトができるような商品構成を行い、オーソドックスに訴えていく。

## Q ふるさと納税に ポイント制度の 導入を

## A 導入は考えていない



斎藤義勝 議員



地場産の返礼品



**問** 犬猫はコンパニオン  
 アニマルと呼ばれる、  
 家族の一員との認識が広  
 がっている。民間のア  
 パートでもペット飼育可  
 能なところが増えている。  
 町営住宅一棟のうち何戸  
 かをペット飼育可能にで  
 きないか。

**町長** 町営住宅条例の迷惑  
 行為禁止の条項に基  
 づき、ペットの飼育を禁  
 止している。飼い主のマ  
 ナーの徹底やペットのし  
 つけ方、他の入居者の理  
 解を得るなど、様々な問

**Q** 町営住宅を  
 ペット飼育  
 可能に



森 淑子 議員

**A** 飼い主のマナーの徹底などの  
 問題があり難しい



大切な命をつなぐ

題の解決が必要となるた  
 め、町営住宅でペット飼  
 育を可能にすることは難  
 しい。

**問** 猫の不妊去勢手術の  
 助成金についての概  
 要は。

**町民環境課長** 飼い主のいない猫の  
 不妊去勢事業として、  
 県が獣医師会に委託して  
 いる。雌猫は1万2千円、  
 雄猫は6千円を限度とし  
 て補助するもの。

**問** 周知の方法は。

**町民環境課長** 町民環境課の窓口に  
 ポスターを掲示して  
 いる。

**問** 人と犬猫との共生に  
 関する条例の制定を。  
 当面は県や獣医師  
 会等関係機関と連携  
 し、お知らせ版などの広  
 報を通して、動物愛護と  
 適正な飼育について普及  
 啓発を図る。



白内恵美子 議員

**Q** 体育館より先に  
 給食センターの  
 建て替えを

**A** 12月に議会の判断を  
 仰ぎたい



文教厚生常任委員での学校給食センターの視察

文教厚生常任委員会は、  
 所管事務調査結果におい  
 て「学校給食センターは  
 大規模改修して長寿命化  
 を図るよりも建て替えを  
 すべき」と指摘した。

しかし、町は30年度に  
 改修工事を実施する。  
 詳しい説明を求める。

**問** 何年後に建て替えを  
 考えているのか。

**教育総務課長** 厨房機器のリースが  
 終わる36年に、基本  
 的なスケジュールができ  
 れば良いと考える。

**問** 建物をもつか。

**教育総務課長** 38年経った建物で汚  
 れや不具合が出てお  
 り、昨年は大雨による吹  
 き込みで雨漏りした。そ  
 れにもまして、最新の調  
 理機器を入れたので、建  
 物がその調理機器の能力  
 を下回っている部分もあ  
 る。不具合箇所を修繕し  
 ていけば全く給食が作れ  
 ない状態の建物ではない。

**問** 今年に入ってから建  
 物の中を見たか。

**副町長** 時々見ている。どこ  
 が傷んでいくか分ら  
 ないので、修繕の繰り返し  
 になると感じる。

**問** 体育館より先に建て  
 るべき。お母さん方  
 は「体育館より先に給食  
 センターでしょう」と言  
 う。改修か建て替えか、  
 早い段階で専門家による  
 調査をし、優先順位を決  
 めるべきでは。

**町長** 体育館は建てること決  
 まったわけではない。  
 体育館の基本設計と給食  
 センターの調査結果を同  
 時に議会に示し、12月に  
 議会の判断を仰ぎたい。



秋本好則 議員

**Q** 電力の地産地消はできないか

**A** 計算上、できるかもしれないが、現実的ではない



屋根に輝くソーラー発電

**問** 本町の公共施設の総電力料金は。また、負荷率は。

**町長** 29年度は1億1千250万円、庁舎の負荷率は約13・4割である。

**問** 電気量の目標値を決め、下がった分は部局での自由裁量にすれば節電が進むのでは。

**財政課長** 庁舎はできないが、施設は可能と考える。県全体での太陽光発電量は発表しており、本町の発電量は211万kWhと推定される。公共施設での総電力使用量は195万kWh

**問** 新電力会社を設立することにより、地域でお金を循環させること

であり、電力の地産地消はできないか。

**町民環境課長** 計算上、できるかもしれないが、現実的ではない。

**問** 加美町の「かみでん里山公社」の話を使ってきた。公共施設で使用する前提で、民間会社と協力して作った。内容を承知しているか。

**町民環境課長** 8月からの稼働で、利益が出るか不明ということだった。

**問** 新電力会社を設立することにより、地域でお金を循環させること

ができるのでは。

**町民環境課長** 他の新電力を注視して行く。

**問** 新電力に切り替えることで7割安くなるという調査がある。登米市では1千万円位安くなったようだ。検討したのか。

**財政課長** 検討したことはない。

**問** 理由は何か。

**副町長** 新電力からの指名参加申請がない。あれば当然考えていく。



桜場政行 議員

**Q** 地域防災マネージャーは現場主義で

**A** 各地区に足を運び、避難ルートを第一に検討する



活躍が期待される地域防災マネージャー

平成30年度から災害対策に専門的に取り組む新たな役割として、地域防災マネージャーを設けた。この配置によって、危機管理能力の向上が期待されることから、取り組みなどについて問う。

**問** 現在、防災訓練が行われていない行政区は。

**総務課長** 2つの行政区が訓練をしていない。自主防災組織を後押ししていく地域防災マネージャーだが、すべての行政区で防災訓練を

行っていくような働き方をしていくべきでは。

**総務課長** 30年度にやるべき1つの目標として、自主防災組織関係の訓練の企画、実施の見直しをしていく。

**問** 住民の安全を確保していくための対策が必要である。地区によって災害の条件が違うことから、地域防災マネージャーには、地域に足を運んで、自分の目で確認してほしい。現場の確認と正しい避難ルートの構築及び避難誘導訓練を行

うよう働きかけてはどうか。

**総務課長** 各地区に足を運び、自主防災組織の指導と避難ルートなどを、第一に検討していく。

**問** 避難行動要支援者への避難誘導訓練の対策を、地域防災マネージャーの活動の一つとしてお願いできないか。

**総務課長** 自主防災組織の指導の中に、在宅要介護支援も含めるよう検討していく。





森 裕樹 議員

**Q** 食物アレルギーを持つ  
児童生徒への  
学校対応は

**A** 各学校で実施していくように  
話を進める



緊急補助治療薬のエピペン

**問** アナフィラキシー  
ショックに陥った場  
合のマニュアル整備や、  
校内研修の実施など、全  
校でのマニュアル化は進  
んでいるのか。  
**教育総務課長** 危機管理マニュアル  
が整備されていない  
学校もあり、指導してい  
く。  
**問** アレルギー疾患の理  
解と正確な情報を共  
有するために、学校生活  
管理指導表も用いて対応  
しているのか。  
**教育総務課長** 学校生活管理指導表  
ではないが、類似し  
た形で管理をしている。

文部科学省の「学校生  
活における健康管理に関  
する調査」によると、近  
年、児童生徒のアレル  
ギー疾患有病率は年々増  
加傾向にある。  
特に食物アレルギーは、  
アレルゲンを摂取するこ  
とによってアナフィラキ  
シーショックという重度  
のアレルギー症状を引き  
起こすなど、生命にかか  
わる状況に陥るときもあ  
る。

**問** 消防署、医師との連  
携は。  
**教育総務課長** 校医にはアレルギー  
疾患などについての  
状況の説明、消防署とは  
学校長を中心に連携を  
図っている。  
**問** 初期対応とエピペン  
使用方法を全教員に  
周知していくべきでは。  
**教育総務課長** 各学校に研修を行う  
よう伝えていきたい。



有賀光子 議員

**Q** 不育症の  
治療助成を

**A** 国・県の対応を注視しながら  
検討していく



新しい命のために…

不育症とは、妊娠はす  
るが流産や死産を繰り返  
し、子どもを持たない症  
状のことである。多くが  
原因不明とされている。  
適切な検査、治療を受け  
れば8割以上の方が出産  
できる。そこで問う。  
**問** 不育症治療は、少子  
化対策の重要課題の一  
つである。不育症が病  
気であることを知らずに  
悩んでいる方も少なく  
ない。治療を受けやす  
くするため、町でも助成  
制度を導入すべきでは。

**町長** 不育症治療助成を  
実施している静岡県で  
は、特定不妊治療とあ  
わせて助成事業を行っ  
ている。宮城県では、助  
成事業を行っているところ  
はない。町としては、国・  
県の対応を注視しながら  
検討していきたい。  
**問** 不育症患者の状況の  
把握は。  
**町長** 妊娠をしない不妊症  
は一般的に知られてい  
るが、不育症はほとん  
ど知られていない。町で  
は、専門の相談窓口は設

置していないが、妊娠に  
不安を感じている方には、  
個別に支援を行っている。  
県では、宮城県不妊・不  
育専門相談センターが開  
設されており、29年度の  
不育症に関する相談は、  
県内で13件寄せられた。  
**問** 若い世代に向けて、  
不育症の普及啓発を  
実施すべきでは。  
**町長** 特定不妊治療とあ  
わせて、町のホーム  
ページから相談機関の情  
報を得られるようにする。



# 一般質問



広沢 真 議員

**Q** モニタリングポストでの異常数値への対応は

**A** 機器の不具合として対応している



放射線モニタリングポスト

放射能汚染廃棄物の試験焼却で、3月に複数回モニタリングポストでの空間放射線量の異常数値が検出された。

**問** 異常数値が検出されたことが、町に知らされたのはいつか。

**町長** 仙南圏域にモニタリングポストは10カ所設置されている。設置自治体には緊急メールで周知されるが、柴田町には緊急メールではなく、3

月30日に機器の不具合が原因との報告が届いて

る。

**問** 仙南地域広域行政事務組合から町に対して、どのような対応が求められたか。

**町長** 異常数値の原因分析を環境省に要請した結果、機器の不具合であるとの報告を受けた。組合からは、住民に調査結果を正確に伝えるよう求められた。

**問** 町の対応は。

**町長** 試験焼却中に異常数値が検出された場合

には試験焼却を中断するが、それ以外の場合は中断しない。判断基準や連絡体制を明確にするマニュアルの作成を要望した。

**問** 異常数値から原因を特定する上で、土壌検査など十分な検証をしているのか。

**町長** 試験焼却前と後で、計測する4つの環境基準を設けて検証している。

**問** 食物アレルギーを持つ児童生徒に対して、給食は提供しないのか。

**教育長** 文部科学省の「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づき、対応を実施している。少量のアレルギー原因物質を取り込んでしまっただけでも、重篤な症状となる児童生徒については、保護者の申し出により給食を停止している。

**問** 食物アレルギーに対応する調理用個室を

新設し、給食を提供することはしないのか。

**教育長** 食物アレルギー対応の専用調理室を設けるためには、現在の施設の約1.5倍の面積が必要となる。

**問** 近隣の市町では食物アレルギーの児童生徒に対し、給食を提供しているのか。

現在の調理作業工程に大きく影響し、衛生管理基準を満たすことさえ困難になるため、食物アレルギー対応専用調理室を新設することはできない。

**教育長** 白石市、村田町は27年8月から、角田市は28年8月から提供している。

**問** 学校給食センターの建設予定は。

**教育長** 整備内容、手法、場所などについて調査検討していく。建設時期については、総合体育館など大型プロジェクトや町の財政事情などを総合的に判断して進めていく。

**Q** 学校給食センター建設予定は

**A** 財政事情など総合的に判断し、進めていく



安藤義憲 議員



学校給食センター内部



佐々木裕子 議員

**Q** 学校給食センターを  
防災拠点場所に  
建設しては

**A** 候補地として検討することは  
やぶさかではない



学校給食センター

**問** 学校給食センターに  
ついて、今年1月の  
文教厚生常任委員会が  
「大規模改修して長寿命  
化を図るよりも建て替え  
るべきである」と指摘し  
ている。今年度、屋上防  
水工事などの予算が計上  
されたが、建て替えを含  
めた対策が必要と考える  
町の考えは。

**町長** 現在は、設備の改修  
など、長寿命化を  
図っている。建設時期に  
ついては、大規模プロ  
ジェクトや国の補助金の

動向を見ながら、当面は  
学校給食センター建設等  
整備基金の積み増しを行  
う。

**問** 建設用地として考え  
られる場所は。

**町長** 学校給食センターは、  
建築基準法で工場と  
して区分されている。法  
的要件や用地面積、周辺  
環境への配慮など様々な  
条件を踏まえて用地の選  
定をしていく必要がある。

**問** 避難者に食事の提供  
ができる学校給食セ  
ンターを、柴田町防災拠

点総合体育館建設用地に  
建設してはどうか。

**町長** 一つの候補地として  
検討することはやぶ  
さかではない。

災害時の避難者への応  
急給食施設に位置づけ、  
調理機器や食品の備蓄な  
ど防災機能を備えた施設  
とすることにより、食事  
提供は可能になると考え  
る。



水戸義裕 議員

**Q** 小中学生に  
国際交流を図る  
機会を

**A** 桜まつりでの  
おもてなし活動を育てたい



Welcome to Shibata!!

**問** 本町の観光での集客  
は、船岡城址公園で  
の花見が主になっている。  
日帰りの観光地である  
ことを踏まえ、改めて施  
策を考えることが重要だ  
と思うが、どうか。

内外に向けプロモーショ  
ン活動を積極的に展開し  
てきた。今年の花見まつり  
観光客入り込み数は、全  
体で25万3千人。うち外  
国人は5千20人と過去最  
高を記録した。これから  
も引き続き仙南の市町と  
連携し、交流人口の底上  
げと経済効果を図りなが  
ら地域の活性化を目指し  
たい。

**町長** これからのインバウ  
ンド政策を進める上  
で、大変なことだ。  
ただ、海外派遣は、中々  
難しい面がある。子ども  
たちが英語でおもてなし  
するのは、県内で初めて  
だと思うので、まずはこ  
うした動きを育てていき  
たい。



## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 平間奈緒美 議員

- 問 自転車に乗り始めるころの教育が一番大事。交通ルールを学ぶイベントの開催を。
- 答 仙台市での事例などを考慮して、イベントについて検討していく。

### 舟山 彰 議員

- 問 小学校で4月から始まった特別の教科「道徳」への対応はいかに。
- 答 各小学校で、道徳推進教師が中心となって評価の妥当性や信頼性を高めるよう研鑽中。
- 問 2045年には柴田町は人口が3万1千人に減るとの推計。それを見越した町政を。
- 答 生活環境の整備や産業振興、地域活性化などの施策を展開して、人口減少に歯止めをかける。

### 吉田和夫 議員

- 問 熱中症対策として仙南地域の小中学校では冷水器の導入が増えている。本町でも導入を。
- 答 他の自治体の先進事例を参考にしながら、調査検討する。
- 問 防災拠点としての公園整備は。
- 答 専門的知見を有する地域防災マネージャーをしっかりと活用していく。
- 問 間もなく任期を満了し、7月には町長選挙が予定されているが。
- 答 次の4年間でバトンタッチができるよう財政をきちんとするため、町長選に立候補する。

### 加藤 滋 議員

- 問 健康つながり基金は、寄附者の要望を反映し有効な活用策を。
- 答 内臓脂肪や血管年齢、血圧などの測定機器を購入し、各種健康教室やイベントで活用する。

### 斎藤義勝 議員

- 問 水道事業の広域化を、今後どのように進めていくのか。
- 答 大規模な破損が生じた場合を想定して、近隣市町との職員の応援体制の構築を検討する。

### 森 淑子 議員

- 問 健康ポイント事業の参加者は高齢の女性が多い。参加の少ない年代に参加を促す方策は。
- 答 「健康100日チャレンジ」のメニューを増やし、選べるようにした。事業の周知に努める。

### 白内恵美子 議員

- 問 世界保健機関提唱の、あらゆる世代に優しい「エイジフレンドリーシティ」の導入を。
- 答 エイジフレンドリーシティの理念を参考に、地域の支えあい体制などの構築を進めていく。
- 問 ゆとりの育児支援事業は、生活困窮世帯には高嶺の花。所得に応じ利用料の減免措置を。
- 答 来年4月をめどに、生活保護世帯や町民税非課税世帯の利用料減免を前向きに検討したい。
- 問 みやぎの森と緑の県民条例が制定された。条例の「町の責務と役割」への取り組みは。
- 答 県産材の積極的な利用の情報提供や、子どもたちの森林ツアー参加への支援に努める。

### 秋本好則 議員

- 問 柴田大橋と白石川堤防上の道路の交差点は、横断が困難。横断歩道や信号機が必要では。
- 答 柴田高校では柴田大橋下を通るよう指導している。住民からの要望はない。

### 桜場政行 議員

- 問 道路補修工事費、道路新設改良費の増額を。
- 答 地方交付税の算定結果などを踏まえ、緊急性・安全性の観点から適正に取り組む。

### 佐々木裕子 議員

- 問 体力のある子どもたちに車椅子で観光に来る方のサポートをお願いしては。
- 答 一つのアイデアと思い、校長を通じて子どもたちに投げかけたい。

### 水戸義裕 議員

- 問 水害によって、人命や財産が失われる前に、あらゆる手段を講じ、改善を図るべきでは。
- 答 25年度から、冠水被害対策を行い、被害の軽減に努めている。
- 問 船岡公民館の建て替えは。
- 答 策定を予定している個別施設計画の中で、複合化なども含め検討していく。



議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

# 常任委員会レポート

各常任委員会は各課の仕事を調査しています。

## 総務 常任委員会

平成30年5月10日～11日



### 調査内容

- ①前年度調査結果に対する措置状況について
- ②各課・所における事務事業の内容および執行状況について

### 調査結果

#### 【総務課】

- 災害発生時には情報提供や連絡を効率的に収集できる体制を構築しておくこと。
- 自主防災組織の訓練で、土のう作り体験を取り入れる場合には、あわせて対応年数の長い土のう袋への更新を図ること。

#### 【財政課】

- 公共施設等総合管理計画の個別施設計画はできるだけ早く明確にすること。
- 北船岡町営住宅1号棟北側など、利用していない町有地の友好活用を検討されたい。

#### 【町民環境課】

- 本町にふさわしい空家対策を検討し、明確な方針を立てて進めること。

#### 【まちづくり政策課】

- 地域づくり交付金は、自治会ごとに適時助言を行い、有効活用されるよう支援すること。

## 文教厚生 常任委員会

平成30年5月17日～18日

### 調査内容

- ①前年度調査結果に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容および執行状況について

### 調査結果

#### 【子ども家庭課】

- 小規模保育を修了した子どもたちの、保育所や私立幼稚園の受入について、教育総務課と連携し協議すること。

#### 【教育総務課】

- 第一幼稚園の来年度以降のあり方に関して、子ども家庭課と連携し協議すること。

#### 【生涯学習課】

- 子どもたちの芸術文化、情操教育に「えずこホール」を積極的に活用すること。



## 産業建設 常任委員会

平成30年5月8日～9日



### 調査内容

- ①前年度調査結果に対する措置状況について
- ②各課における事務事業の内容および執行状況について

### 調査結果

#### 【商工観光課】

- 船岡駅、榎木駅のトイレは、防犯カメラの設置などを含め管理方法を再検討すること。
- 観光政策においては、大河原町と年間を通した連携を検討されたい。
- 桜まつりの観光客の増に対し、柴田町観光物産交流館「さくらの里」の運営が対応できているのか、改めて検討されたい。

#### 【上下水道課】

- 上下水道管の更新事業は、ストックマネジメントを生かした計画を図り進めること。

#### 【農政課】

- ほ場整備事業が順調に進むよう関係各課や県、土地改良区などと連携をとり推進すること。

#### 【都市建設課】

- 雨水対策事業は住民の不安を解消できるよう早急に工事を進めること。

平成30年議会懇談会

# 議会と話そう!

参加して  
ください

議会懇談会を開催します

「柴田町のこと、議員と一緒に考えてみませんか?」



**8月8日(水)** 19:00 ~ 20:50  
町内3会場で開催

今年は少人数のグループに分かれ、気軽に対話するワークショップ形式で行います。

## 内容

### 1 懇談 1

「みんなで考えよう!  
歩きたくなるまち」

### 2 報告

- ・平成29年議会懇談会での要望事項などについて
- ・議会活動について

### 3 懇談 2

「町政・議会全般」について

※対象行政区以外の会場でも参加できます。  
※各場所に無料の臨時託児所を開設します。  
利用を希望される方は8月3日(金)まで  
電話で下記へお申し込みください。  
議会事務局 TEL 55-2136

## 柴田町役場4階 保健センター

対象行政区 : 1区~9B区、11A区~12B区、30区

(参加予定議員)

- ・広沢 真 ・吉田 和夫 ・森 淑子
- ・桜場 政行 ・平間奈緒美 ・有賀 光子

## 船迫生涯学習センター2階 会議室

対象行政区 : 10区、28区~29D区

(参加予定議員)

- ・水戸 義裕 ・安藤 義憲 ・斎藤 義勝
- ・森 裕樹 ・秋本 好則 ・高橋たい子

## 槻木生涯学習センター3階 会議室2

対象行政区 : 13区~27区

(参加予定議員)

- ・舟山 彰 ・平間 幸弘 ・安部 俊三
- ・加藤 滋 ・佐々木裕子 ・白内恵美子

しゃべり場in柴田高校2018 7月10日開催

# ワールド・カフェ！ 20年後も住みたいまち、 戻ってきたいまちを考える

ところで、ワールド・カフェって…なに？

参加者が、本物のカフェのようなリラックスした雰囲気（BGM・お茶・お菓子など）の中で、4～5人の少人数のグループに分かれ、メンバーの組み合わせを変えながら、自由に話し合いを発展させていくワークショップの一手法です。

30年度のテーマ

「20年後も住みたいまち、戻ってきたいまち」

当日の流れ

①自分の住む町の「いいね！」と思うこと、  
「残念！」と思うことは？

席替え

②20年後、地元で暮らすもしくは地元と関係を持ち  
続ける自分を想像してください。そこではどんな  
人々とどんな暮らしをしていきたいですか？

席替え

③そんな20年後を実現するために、今から取り組  
む一歩は？  
大人に応援してほしいことは？

個人でのふりかえり  
全体でのふりかえり

「若者の意見が聞きたい！」ということから始まった柴田高校とのワールド・カフェ形式の懇談会を、7月10日に開催しました。

3年目となる今年は、ファシリテーター（進行）役などを議員が担当して実施してみました。

当日はBGMが流れる和やかな雰囲気の中、少し緊張気味の高校生42人、町の若手職員15人、議員18人が「20年後も住みたいまち、戻ってきたいまちを考える」をテーマに、時には真剣に、時には笑いあいの対話を行いました。

柴田町議会としては、「20年後の将来」「地域との関わり合い」について考え、対話するこの懇談会が、高校生が地域のことや自分の将来について考える一つのきっかけになればと思っています。



## ワールド・カフェの様子

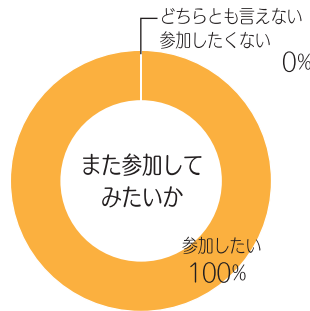
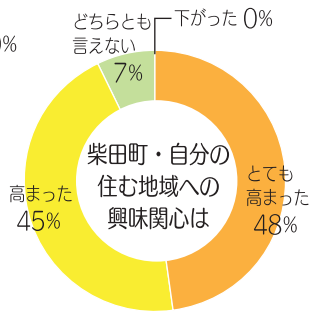
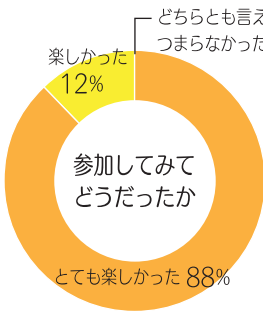




# 第3回 柴田高校 3年生との懇談会（今年も開催しました） 高校生の意見が聞きたい!!

## 参加者アンケート

参加いただいた高校生へのアンケート結果の抜粋です。



## 本日の感想

(自由記述)

- ☆地元への愛が深まった1日でした。
- ☆たくさんの議員と話し合えたことが楽しかったです。
- ☆人生の先輩である方々と話しができてよかったです。人生の先輩であるからこそ言葉はしっかりきました。心に残った言葉を大事にし、これから頑張っていきたいと思いました。
- ☆色々な初対面の人と一つの事についてリラックスした空気で話し合える。とても楽しく、とてもタメになる時間でした。ありがとうございました！
- ☆色々な意見を聞いて、自分の選択の幅を広げられた。
- ☆地元を知りたいと思ういいきっかけになりました。ありがとうございました。
- ☆3年間一緒にすごしてきた友達のいままで知らなかった考え方などや、いろいろな意見が聴くことができとても楽しかったです。

## 議会から

これからのまちを担っていく若者の意見を町政に反映させていけるよう取り組んでいきます。



柴田町職員

●町の高校生から様々な話を聞ける有意義な時間でした。高校生から出た「勉強」するという言葉は、自身にとっても大切だと実感しました。今後、もしこのような機会があればどんどん参加したいです。(福祉課 末永さん)

●高校生同士で会話することとは多いですが、なかなか話し合う機会のない、人生の先輩からの話は学ぶことがたくさんありました。この経験を今後の人生に生かしていければと思います。(近江さん)



## 柴田高校生

●家族以外の年上の方からいろいろな経験や見方を話していただいて、考える将来がちよつと見えなかなと思えました。(田頭さん)

●失敗を恐れない気持ちなど、いろいろな経験談を語っていただき、あらゆる面で勉強になりました。とてもいい時間になりました。(國分さん)

## 参加者にインタビューしてみました

## テーマ：地方創生関係交付金事業

常任委員会での指摘事項や、議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、27年度（26年度繰越事業）から取り組んでいる「地方創生関係交付金事業」について特集します。

### 地方創生関係交付金事業とは

平成26年9月に、第二次安倍改造内閣が発足した時に掲げられた「東京への一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げること」を目的とした政策です。

国の26年度補正予算により、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」の決定を受け、本町では、27年5月に「プレミアム商品券」や「乳児おむつ購入券」などを発行しました。

その後も、「地方創生加速化交付金」「地方創生推進交付金」「地方創生拠点整備交付金」など、交付金を活用した事業を行っています。

これらの交付金事業については、※1 KPIと※2 PDCAサイクルにより事業を評価し、国に報告しているところです。

議会においても、各常任委員会での検証や指摘のほか、議員から一般質問での提案や、予算審査特別委員会での質疑を行っています。

※1 KPI＝重要業績評価指標 達成すべき目標に対し、どれだけ進捗が見られたかを明確にする。  
※2 PDCAサイクル＝計画→実行→評価→改善の4段階を繰り返し、業務を継続的に改善する手法。

# ？ なった

事業年度	交付金を活用した主な事業	事業費	交付額
27	消費喚起プレミアム商品券発行事業	4,933万円	全額交付
	乳児おむつ購入券助成事業	535万円	
	介護家族リフレッシュ事業等	387万円	
	「花のまち柴田」インバウンド推進事業	1,750万円	
	阿武隈急行沿線地域の広域連携と新たな観光資源創出事業	110万円	
	柴田町総合戦略策定事業	801万円	
	柴田の6次化支援強化事業	300万円	
	地域資源を活用した観光振興事業	1,103万円	
	地域資源を活用した小さな拠点整備事業（上川名の竹林の再整備等）	2,106万円	
	太陽の村冒険遊び場整備事業	990万円	
トップアスリート育成事業	995万円	1/2 交付	
28	白石川一目千本桜・花回廊による商店街にぎわい事業		1,986万円
	「太陽の村」旧館のリノベーションとはらから福祉会「らぼるの森」開設		4,000万円
28～29	「花のまち柴田」にぎわい創出ステップアップ事業	5,585万円	
	小さな拠点の連携を核とした元気なまち創生プロジェクト事業	7,055万円	

※千円単位は四捨五入しています

### 27年度 プレミアム商品券 (消費喚起型交付金)

27年5月30・31日に販売した3割増しプレミアム商品券の割増し分に交付金が充てられました。

当日は炎天下に買い求めるため長蛇の列ができ、買えなかった住民もいました。その販売方法や対応には議員からも多くの意見がありました。



### 地方創生関係交付金の概要（イメージ）



内閣府 まち・ひと・しごと創生本部ホームページより  
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/about/kouhukin/>



# 「追跡」あれはどう

## 28年度 太陽の村リノベーション事業 (地方創生加速化交付金)

太陽の村旧館をリノベーション(改装)し、障がい者が営む石窯ピザと牛タンの店「らぼるの森」をオープンしました。運営は「社会福祉法人はらから福祉会」が行っています。5人を雇用しました。



## 28~29年度 まちづくり会社運営補助 フットパス関連事業 (地方創生推進交付金)

まちづくり会社「しばたの未来株式会社」へ、28・29年度の2力年で、2千79万円を運営補助として支出しました。

町の委託事業であるフットパス事業のほか、独自事業として開催した「しばたの未来寄席」が好評です。

フットパス関連事業費として、29年度は939万円を支出しました。

今年、本町で全国フットパスの集いが開催され



ます。全国からの来町者に、本町のまち中や、里山のありのままの景観を楽しみながら歩いてもらい、地域住民との交流に結び付くことを期待します。

## 28年度

## 白石川一目千本桜・花回廊による 商店街にぎわい事業 (地方創生加速化交付金)

「花のまち柴田」インバウンド推進協議会と商工会が連携し、事業を進めています。商店街の活性化、おもてなし作戦、花回廊の整備など、まち中へ人の回遊性を高め、中心商店街の活性化を図り、交流人口を増加させます。また、広域観光地と連携し、観光客の滞在時間の延長とコミュニケーションの創出にも取り組んでいます。



## 27年度

## 小さな拠点整備事業 (地方創生先行型交付金)

上川名地区活性化推進組合の事業計画に基づき、自然環境を守るために地区内の荒廃した竹林を再整備しました。また、竹や筍を活用した6次産業化に取り組んでいます。

竹林は27年度に整備し、28年4月より筍の出荷を開始しました。29年3月には「竹林の音楽会」を開催するなど、交流を図っています。



## 検証の結果

本町では、地方創生関係交付金を活用した事業が次々に実施されています。

交付金は、当初、全額交付でしたが、28年度からは、事業費の2分の1の交付額となっています。議会においても、その都度、検証や進捗状況の確認を行っています。

これらの交付金を活用した事業が、今後も継続性を持ち、まちづくりの足掛かりになることを望むところです。また、交付金を活用するには、自治体側にも体力(資金力)が必要ではないでしょうか。今後、この制度が終了した後の対応も考えていく必要があります。

国の意とする「東京への一極集中の是正。地方の人口減少の歯止めと、日本全体の活力向上」ができたのか、その評価と検証は今後も続きます。

# あなたの一言



瀬戸 玲子 さん  
(槻木四日市場 在住)

## ○柴田町に住んで感じたこと

柴田町に住んで14年になりました。震災後、街並みや環境は変化したものの、地域の方の親切と温かさを日々感じながら過ごしています。各地域で朝夕に、子どもたちに声をかけ見守ってくださる方が増えてくることも誇りつつ、素敵なことだと思います。

## ○柴田町で好きなのは

四日市場の田園風景です。今は緑ですが、やがて稲穂が黄金の絨毯となり、風になびく景色が大好きです。身近なところに山や田舎があり、その時々には咲く草花や、虫や鳥の声で季節を感じることが出来るのは、ぜひ残してほしい景色です。また、町内より少し遅くつく「雨乞のイチヨウ」も、その偉大さに元気をもらえるスポットです。

## ○柴田町に何を望みますか

各小中学校の施設を修繕してほしいです。町の予算が順番に回っているのは分かっていますが、万が一の避難場所になることと、子どもたちが毎日使うトイレや体育館が整備されるようお願いしています。町道富沢16号線の道路も交通量が多いので、早急に整備されるとうれしいです。

「花のまち柴田」として周知されてきているので、町内にも花があり、町内外から足を運んでももらえる町へ発展してほしいです。

## ○議会、議員に何を望みますか

様々な世代の方がいて「こうなったらいいのになあ…」は、その現場にいる方にしか見えないものです。議員の方は町民にとって一番身近な立場として、町民の声に耳を傾け、より良いまちづくりと、町の発展のため活躍されることを期待します。

## ○議会だよりを読んでいますか

常に拝見しています。興味のある記事だけでなく、これからも関心をもつて読もうと思っています。

## ■議会から一言

貴重なご意見を真摯に受け止め、これからも、町民の皆様の声に耳を傾けるよう努めてまいります。

未来へ向けて

## 表紙について



暑さなんか忘れちゃう。元気にプールで水遊びを楽しむ園児たちの声が響きました。「つめたくてきもちいいー」  
(7月3日撮影 熊野幼稚園)

## 編集後記

今号の「しばた議会だより」は、暑い中で編集作業になりました。各委員は、体調維持に気遣いながら、担当の紙面づくりのためパソコンと格闘しています。

6月21日、議会広報常任委員会では、利府町へ「議会だより」の先進地視察研修に行きました。利府町議会は、全国町村議会広報コンクールで28年度には最優秀賞を受賞しています。同議会を参考に、インパクトのある読みやすい紙面づくりに努めてまいります。

益々暑い日が続きますが、皆様には食生活に留意され、健康でお元気に過ごされますようお願いしております。

議会広報常任委員会 加藤 滋

## 「議会ネット中継」へのQRコード



※詳しくは、柴田町ホームページを参照してください。

## ぜひ、議会の傍聴を!!

9月会議は

9月3日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

9月3日(月)・4日(火)・5日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

## 町ホームページに本会議審議等結果を掲載

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより161号は、約16,000部作成しています。1部当たりの経費は約31円です。